



COVID-19 感染拡大防止のための 令和3年度活動報告No.4

昨年に引き続き、COVID-19 感染対策を心掛けながら、婦人会活動の範囲を広げています。

感染防止のためにできることを身の回りから点検していくと、新型コロナウイルスワクチン接種がありました。そこで自治体と協力して、高齢者向けの集団接種会場でのボランティア活動を行いました。ますます活躍の場を広げ、新しい生活様式のために取り組む婦人会活動を紹介いたします。

＜青森県平内町連合婦人会・青森県平内町日赤奉仕団＞

青森県平内町で活動する連合婦人会（三津谷志津子会長）は、日赤奉仕団としても、さまざまな取り組みを行っています。特に5月～7月にかけて、高齢者を中心とした新型コロナウイルスワクチンの集団接種が実施される事を受けて、役員会で話し合いを持ちました。

「服の着脱をはじめ、移動等でも介助が必要な人がいるのではないかと」意見もあり、感染予防に十分留意したうえで可能な限り協力をしようということになりました。

実際には、送迎バスの乗降補助、車いすへの移乗介助、車いすの操作、受付前の書類の確認、手すりや机の消毒、接種場所への案内等、当初考えていた以上に「やること」がたくさんでした（写真）。



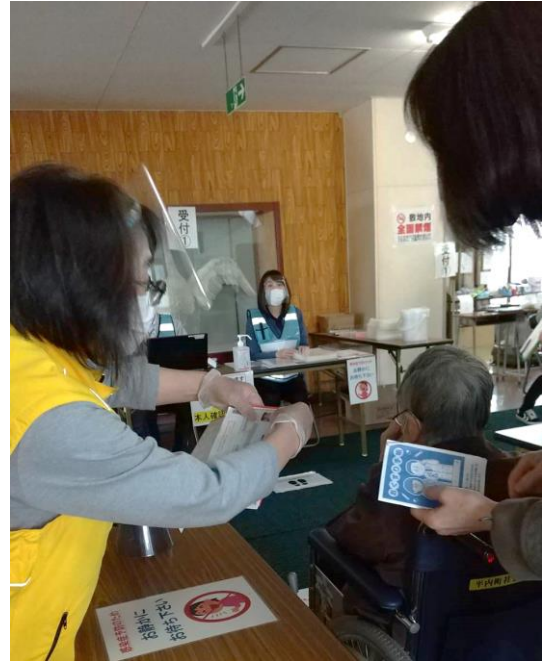
車いすの消毒をして、来場者を待ちます



バスの乗り降りも見守ります



接種券・問診票・身分証明書など忘れ物がないか確認



書類をセットして、奥の受付へ誘導

回を重ねるごとに気づくこともあり、平内町役場職員のみなさんの足手まといにならないように気を付けながらの活動でした。

1日に8～10名がお手伝いに会場に出向き、延べ人数は82名となりました。65歳以上のワクチン接種は7月18日に完了しています。

「助かった。ありがとう」「平内方式は素晴らしい」などの声をいただき、我が事のように誇らしくさえ感じました。

「奉仕団の人たちがいて良かった」と言ってもらい、気を良くして次の活動を模索しています。